

地域課題

事業主体：稲城市

- ✓ 市内の地域経済循環率は66.3%、民間消費の支出流出入率は-36.0%（全国1,741自治体中1,654位）である※1。
- ✓ これは市民の消費活動が市外で行われている傾向が強く、市内の地域経済が不活性化の状況を意味し、課題と認識。
- ✓ 特に商店街での経済不活性化が顕著であり、対策が求められている。

※1：地域経済分析システム「RESAS」

【推進体制】

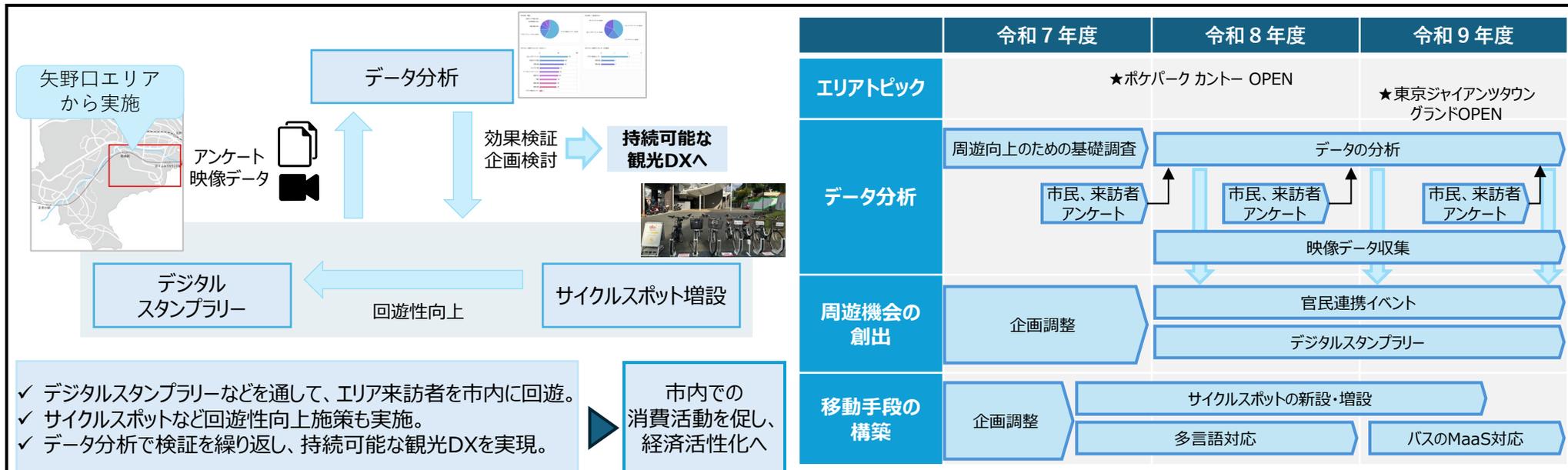
<構成メンバー>

産：読売巨人軍、よみうりランド、稲城市観光協会
官：稲城市

目的・概要

- ✓ **多機能マップ（MaaS・観光施設情報・スタンプラリー）**を駆使し**観光施策**を通じて、よみうりランドや東京ジャイアンツタウンをはじめとする**エリア来訪者を市内で周遊させ、消費する仕組み**を構築する。
- ✓ 実施する施策からデータを取得し、現状把握から効果検証まで、**データ分析に基づいて施策を推進し、持続可能な観光DX**を推進する。

取組



観光事業を地域社会・経済の好循環を生む原動力としていくことを目指す

※支援期間：交付決定の日から令和10年3月31日まで